

町内スポーツ施設（パークゴルフ場を除く）の指定管理者が代わりました

4月1日から、「おおがわらスポーツまちづくり共同事業体（以下、共同事業体）」が指定管理者として、ヒルズはねっこアリーナ（総合体育館）、大河原公園テニスコート、多目的広場、東部屋内運動場及び東部グラウンドの5施設の管理運営業務を行っています。

指定期間は、令和9年3月31日までの3年間です。共同事業体では、施設の維持管理業務のほか、様々な運動教室やスポーツイベントの開催を計画しています。



▲ヒルズはねっこアリーナの運営スタッフの皆さん



▲最新型の機器も加わったトレーニングルーム

また、ヒルズはねっこアリーナ内のトレーニングルームでは、機器の大幅な入れ替えを行うとともに、新たに指導員を配置するなど、これまで以上に利用しやすい施設とするための取り組みを進めています。

普段からスポーツに取り組んでいるかたはもちろん、何か運動を始めてみたい、運動不足を解消したいというかたなど、どんなかたでもどうぞお気軽にお越しください。

問合せ ヒルズはねっこアリーナ

☎0224-53-1010

桜フレーム切手贈呈式

4月2日、日本郵便株式会社から町と（一社）大河原町観光物産協会へオリジナルフレーム切手「一目千本桜と船岡城址公園2024」が贈呈されました。84円切手が10枚1シートとなっていて、大河原町、柴田町それぞれ5か所の桜の風景が採用されています。

今回贈呈いただいた桜切手は白石市、名取市、角田市、岩沼市、蔵王町、七ヶ宿町、大河原町、村田町、柴田町、川崎町、丸森町、亘理町、山元町の計62の郵便局でお買い求めいただけます。

桜の切手を貼って大切な人にお手紙を届けてみてはいかがでしょうか。



部活動地域移行に係る委嘱状交付式

4月3日、大河原町にぎわい交流施設（中央公民館）において大河原中学校・金ヶ瀬中学校の部活動地域移行に係る22名の外部指導員への委嘱状の交付が行われました。

部活動の地域移行は休日からはじめます。「地域クラブ」として活動し、多様な活動を体験できる機会と、将来にわたりスポーツや文化芸術活動に継続して楽しむ機会を確保していただけるように事業を進めていきます。



▲鈴木教育長より一人一人へ委嘱状が手渡されました

MTB S-PARKで補助輪外し教室を開催しました

3月24日、MTB S-PARKにおいてMTBプロライダーの井手川直樹選手や清水一輝選手などを講師にお迎えし、親子と一緒に補助輪を外すコツ等が学べる教室を初めて開催しました。

参加したかたは短時間でもしっかりコツを掴み、なかには1人で乗れるようになったお子さんもいらっしゃいました。今後も継続して、開催していく予定です。



ベガルタ仙台「宮城・東北Dream Project」に参加しました

3月22日、ベガルタ仙台が実施している「宮城・東北Dream Project」に町内在住の小学生親子12組が参加しました。

当日は試合観戦のほか、ピッチ内アップ見学や選手との記念撮影等を行い、普段することができない選手との交流ができて、参加された皆さんは最後まで笑顔で楽しまれていました。



フレスコ株式会社より学校用備品の寄附

3月27日、フレスコ株式会社より町内中学校2校へそれぞれ学校用備品を寄附いただきました。

この寄附は、町内にフレスコキクチの店舗があることから、地域貢献の一環として、教育の振興を目的に毎年贈られているものです。

各学校において大切に使用させていただきます。

▷大河原中学校	生徒用ロッカー	1台
	審判台（バレーボール用）	1台
	木製レーキ	1本
▷金ヶ瀬中学校	抗菌ノンスリップマット	1枚
	インクジェットプリンタ	2台
	インクボトル	8本



▲写真左から鈴木教育長、フレスコ(株)菊地 代表取締役、齋町長

能登半島地震に係る人的支援派遣職員壮行式

3月29日、役場庁舎において、能登半島地震に係る人的支援派遣職員壮行式が行われました。大河原町からは2度目の派遣となります。

今回、石川県能登町に派遣が決定したのは、自ら志願した学校給食センター 石倉 修 所長と、農政課 岡崎 賢太 係長の2人です。町長より「被災者に寄り添った支援を期待しています。」と話がありました。2人は、「東日本大震災の際にいただいた恩を返し、希望を持っていただけるよう支援していきたい」と決意を述べた後、能登町に向けて出発し、4月1日～8日の8日間にわたり罹災証明書の発行に必要な被災家屋の被害認定調査に従事しました。



▲左から石倉所長・岡崎係長